



大規模土砂災害を想定した合同防災訓練に参加しました

1月20日に白馬村多目的ホールで、白馬村、国土交通省松本砂防事務所、長野県関係機関（砂防課、危機管理防災課、北安曇地方事務所、大町建設事務所、姫川砂防事務所）など85名が参加して、地震による大規模土砂災害を想定した机上訓練を行いました。また当日は、地元住民の方や報道機関などからも13名が見学されました。

訓練は、震度6弱の地震で平川が土砂によりせき止められ、峰方地区でも崖崩れで国道が不通となり集落が孤立化したとの想定で、ロールプレイング方式で行われました。

参加者には詳細なシナリオは知らされておらず、緊急調査、住民避難、応急対策などが各機関で適切に行えるか、また情報伝達が適切なルートで遅延なく行えるかなどを確認しました。

当所からは、塩入所長以下5名が参加しましたが、電話やFAXによる情報量が多く、少数の職員では対応が遅れがちになってしまいました。実際の災害では現場と事務所の人数配分や、情報の整理が課題になるとの感想を持ちました。

この訓練を通じて反省点を洗い出し、いかに早く、正確に、安全に地域の皆様への情報提供と安全・安心の確保を図るかを検討し、今後もさらに訓練を重ねて研鑽を積んでいきたいと思っております。



当所職員の訓練状況



ステージ上は見学されている住民の方々

小谷村の積雪状況



今年、小谷村では1月の過去最高の積雪を記録する程の大雪となり、事務所でも1月30日現在で1m96cmとなっています。

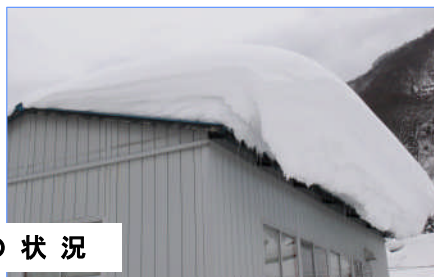
昨年暮れの22日から本格的に雪が降り出し、天皇誕生日・クリスマス連休に管内のスキー場が滑走可能となるなど、観光関係者はほっとしたところですが、その後、どんどん雪が降り積もり、事務所では1月17日、21日に地元業者に依頼し屋根の雪下ろしを行ったほどです。

去年の冬は正月あつという間に積雪が増え1月中旬に、急きょ職員で車庫の屋根雪下ろしを行ったのですが、今冬はそれ以上です。

気象情報によると、「ラニーニャ現象が持続している」など出ており、今後も「豪雪」に注意をしていく必要があります。



屋根雪の状況



積雪

1月30日現在 1.96m

現場紹介

通常砂防工事 西東原沢 白馬村 野平



砂防堰堤が完成しました！

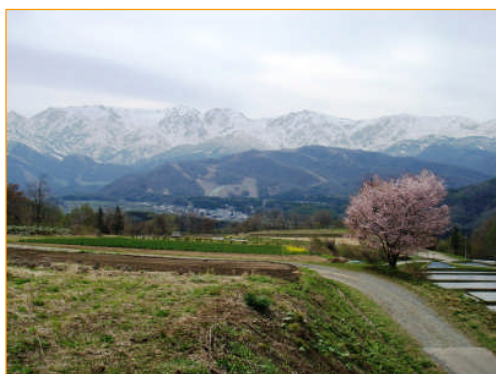
白馬村野平地区の西東原沢に砂防堰堤が完成しました。

自然豊かな白馬村でクマタカなどの稀少猛禽類に気を遣いながら、何も無い山の中に工用道路を 510m 新設しました。堰堤は工事で発生する残土を有効活用する新工法（INSEM 工法）で作られています。また、基礎地盤が軟弱なため、地山にセメントミルクを混合攪拌させる「MRC 工法」という柱状改良工法を採用しました。

桜が咲く時期に着工し、雪が降るまでに堰堤が完成するか心配されましたが、完成を待つ雪化粧となりました。

来年度、隣の沢尻沢で新たな堰堤の工事に着手予定です。

（工事概要 H=8.0m、L=48.5m、SB ウォール堰堤）



野平地区から望む五月の白馬三山



西東原沢砂防堰堤 着工前状況



西東原沢砂防堰堤 竣工状況

雪崩パトロール

1月30日、姫川砂防事務所では雪崩パトロールを行いました。積雪量は小谷は平均で2.5m位ですが、大網は5m位ありました。雪崩による人家への被害は出ていませんが、今後も雪が続く予報ですので、十分注意したいですね。



北小谷（島温泉）付近の積雪状況

2月の主なイベント

白馬村

2月18日（土）

* 八方尾根火祭り *

小谷村

2月11日（土）

* 大網火祭り *

